広尾館だより

冬号（Vol.36：2024年1月発行）

毎日寒いですね。何事につけても、寒いとやる気の出る人、やる気が出ない人、様々だと思います。とはいえ、実習や課題、定期試験など気の抜けない日々が続き、お疲れ気味の方も多いことでしょう。図書館にお世話になっている人も多いと思いますが、何かが終わって一段落した際にも是非、足を運んでみて下さい。今のあなたにしか出会えない本が見つかるかもしれません★

冬の読書案内

高校を卒業した後も進路が決まらず、知識こそ全くないが、ただ食べることが好きという理由で選んだ和菓子店でアルバイトを始めたアンちゃん。和菓子を買っていくお客さんの、ちょっぴり不可解な行動や言動からアンちゃんが感じた疑問や違和感を、株が大好きな店長・乙女な男性社員・実は元ヤンの女子大生アルバイトと共に解決していく、新感覚のミステリー作品です。

アンちゃんにとっては消去法で選んだアルバイト。和菓子の知識も接客の経験もなく思い入れのない業界で働くことは大変なはずですが、その中でも、接客方法や和菓子の知識、言葉遣いなど、一つでも多く自分の知識として身につけようとするアンちゃんの姿勢が素晴らしいです。知らない世界に飛び込むことは勇気がいると思いますが、アンちゃんをみていると自然と気力が湧いてきます。ミステリー要素も十分にありますが、どちらかというと謎解きに近く、解決したあとはきっと誰もがほっこりと温かい気持ちに包まれます。

店長たちから教わる和菓子にまつわる雑学を頼りに、アンちゃん目線で謎を解いていくので自然と和菓子の知識が身に付きます。そして読み進めていくうちに和菓子が持つ魅力にも気付かされるのではないでしょうか。読み終わった後は、今は和菓子に興味がないあなたも、洋菓子好きのあなたも、きっと和菓子が食べたくなるはず。

続編として「アンと青春」「アンと愛情」「アンと幸福」があります。「アンと青春」「アンと愛情」は広尾館に所蔵されていますので、「和菓子のアン」と共に、気になった方はぜひ読んでみてください。

『和菓子のアン』
坂木司 著　光文社
【配架場所】
学生選書コーナー
請求記号　913.4/S
案内人：髙木 理桜さん
（TBC会員　看護学部2年生）

2023年度 第2回 選書ツアーを開催しました！

10月23日、新宿の紀伊国屋書店にて、今年度第２回目の選書ツアーが開催されました。11名の学生が熱心に、看護領域だけではない、さまざまなジャンルから359冊の本を選びました。今回選んでいただいた本の中から、263冊の本が学生選書コーナーに並ぶ予定です。

また参加者の方からは、次回も参加したいという声もいただきました。選書ツアーは来春にも開催します。

みなさん、ぜひご参加ください！楽しいですよ！

開館カレンダー

開館日・開館時間は
変更になる可能性があります

広尾館

通常開館	月~金	8:50 - 21:00
	土	10:00 - 17:30
	日	13:30 - 17:30
	*土日は本学在籍者限定 *群馬看護師研修センター研修生は土曜のみ利用可	
短縮開館	8:50 - 14:00	
休暇中開館	8:50 - 17:00	
閉館		

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

広尾館・大宮館の
最新情報は
図書館HPまで

年間貸出ランキング

2023年(1月～12月)

学生選書部門

人気の学生選書コーナー！
学生が自ら選んで購入した本の中からさらに人気の高いものがこちらになります！

1 『やっぱり食べに行こう。』原田マハ(毎日新聞社)

元キュレーターでアート小説を数多く執筆している著者は蓼科、東京、パリを拠点に生活しつつ、様々な場所に訪れ、食を味わう。気軽に読める食エッセイ本。

こんな本も読んでみよう!

同著者作品
- スイート・ホーム 913.6/H
- 常設展示室 913.6/H
- モネのあしあと 723/H

2 『死にたいけどトッポッキは食べたい』ペク・セヒ　山口ミル：訳(光文社)

昔の自分が見たら喜ぶようなステータスにいるはずなのに、自己肯定感が低くて対極的な考えしかできずに苦しむ。ほかにも誰もが共感できる悩みを赤裸々につづった精神科医の先生との対話の記録。

アジア作品
- アーモンド 929/S
- 三体 923/R
- 82年生まれ、キム・ジヨン 929/C

3 『52ヘルツのクジラたち』町田そのこ(中央公論新社)

※広尾館だよりvol.33でも紹介されている本です！

52ヘルツの鯨は世界で最も孤独な鯨である。世界には80億という人がひしめいているのに、私たちは孤独を感じ、その中でいったい何人の人が本当のつがいを見つけられるのだろうか。

本屋大賞作品
- 流浪の月 913.6/N
- そして、バトンは渡された 913.6/S
- かがみの孤城 913.6/T

3 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』Brady Mikako(新潮社刊)

ブルーを怒りを表す言葉だと勘違いしていた息子。落書きにあったタイトルの言葉はどちらの意味で綴られたのか。日本人とアイルランド人の間に生まれた息子と、人種や貧困など様々な違いや考え方に出会うノンフィクション。

ノンフィクション作品
- 無人島のふたり 915/Y
- 深夜特急 915/S
- 戦争は女の顔をしていない 986/A

5位：死に至る病 岡田尊司(光文社)：これならわかる!心電図の読み方 大島一太(ナツメ社)：質的研究法 Rice Pranee(メディカル・サイエンス・インターナショナル)：英語文献なんて怖くない！ 森實敏夫司(中山書店)：こころの処方箋 河合隼雄(新潮社)

※広尾館だよりvol.32でも紹介されています

各部門人気特集

文庫部門

1. ツバキ文具店 小川糸
1. ハサミ男 殊能将之

小説部門

1. やっぱり食べに行こう。 原田マハ

院生部門

1. お母さんがもっと元気になる乳児診断　水野克己
2. バーンズ＆グローブ看護研究入門 Susan K. Grove / Nancy Burns /Jennifer R. Gray
2. 看護理論家の業績と理論評価　筒井真優美

コミック部門

1. ツレがうつになりまして。 細川貂々
1. コウノドリ　鈴ノ木ユウ
1. フラジャイル　水草敏

医療・看護部門

1. 「グループ」という方法　武井麻子